

2月27日は「Pokémon Day（ポケモンデー）」

ポケモンの原点であるゲームボーイ向けソフト『ポケットモンスター 赤・緑』が発売されたのは1996年2月27日。この日は長年にわたり、ファン間で「ポケモンデー」として親しまれてきました。近年は私たちもSNS上などでファンと共にこの日を祝っており、2020年には日本記念日協会から正式に認定されました。

2025年の同日夜には、「Pokémon Presents」という情報番組を各地域のポケモンYouTubeチャンネルなどで放送。日本の同時接続者数は過去最高となり、大きな注目を集めました。番組内ではビデオゲーム最新作『Pokémon Legends Z-A（ゼットエー）』の発売時期が2025年秋と発表されたほか、今後の『ポケットモンスター』シリーズがラテンアメリカスペイン語にも対応し、計10言語で遊べるようになることなど、様々な新情報が公開されました。

「Pokémon Presents」で公開されたものに限らず、2025年も様々な取り組みを予定しておりますので、引き続きご注目下さい。



2025.2.27



ポケモンの原点、ビデオゲーム『ポケットモンスター 赤・緑』



ビデオゲーム最新作『Pokémon Legends Z-A（ゼットエー）』

イラストを通じて表現されるポケモンの世界

1000種を超える個性豊かなポケモンたちが登場するゲーム『ポケットモンスター』シリーズをベースにした「ポケモンカードゲーム」は、そのイラストを通じてポケモンの世界に深みを与えています。開発会社のクリエーターズがデザインの製作・ディレクションを担当し、現在では国内外合わせて250名以上のイラストレーターが制作に携わっています。ポケモンの特性や個性を丁寧に読み解き、独自の視点も織りまぜながらイラストで表現しています。

また、時に異なる分野で活躍する方々の才能も取り入れています。例えば『北斗の拳』などで知られる漫画家の原哲夫氏ならではの拳の表現が際立つ「イルカマン」。「アジアのベストレストラン50」で日本人女性初の「最優秀女性シェフ賞」を受賞したétéの庄司夏子氏による、宝石のように美しいケーキと「イーブイ」のタイアップ。2024年12月に公開された上記2作品は、大きな注目を集めました。このように、ポケモンカードのイラストは対戦の楽しさと並んでゲームの醍醐味の一つとなっています。

国内Hot Topics



左「イルカマン」右「イーブイ」のカード

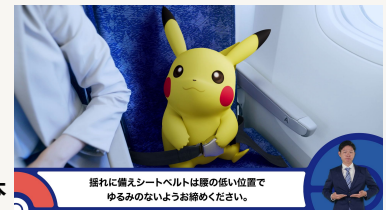
ANAとの取り組みについて

2024年12月1日より、ANAの国内線・国際線（一部機材を除く）で、ポケモンが登場する「機内安全ビデオ」を視聴できるようになりました。

ビデオ内のポケモンは、機内安全ビデオとして伝えるべき事項と各ポケモンの個性が違和感なくマッチするよう、選定されました。機内安全ビデオは、安全のために大切なものですが、お客様にいかにも集中して最後まで見ていただくかが課題でした。そこに、ポケモンが登場することで、お客様からは、大人も子どもも楽しんで最後まで見られる、という声をいただきました。本ビデオは、毎日1000便以上で視聴されています。

空港を舞台にした降機ビデオも放映されたほか、12月19日に、羽田空港国内線ANA LOUNGE（本館南）のキッズルームが、ポケモンたちに囲まれた「ANA ポケモン Kids TVラウンジ」としてリニューアルオープン。

ANAとの取り組みにより、皆様に、ポケモンが寄り添った旅をお届けできるようになりました。



揺れに備えシートベルトは腰の低い位置でゆるみのないようお締めください。

PLAZA発 生理用ナプキン ポケモンデザインで配布

ライフスタイルストア「PLAZA・MINIPLA」で販売されているオリジナルの生理用品「The Week Sanitary Pad」が、ポケモンデザインのパッケージで登場し、2025年1月7日より、全国の学校や教育団体向けに、無償配布（数量限定）の受け付けを開始しました。生理に関する情報をまとめたリーフレットとセットでご提供し、これまで教育機関だけでなく女子スポーツ団体などからも、幅広くご応募いただきました。生理のあり方は人それぞれであることに合わせ、さまざまな特徴を持つ12種類のポケモンをデザインしています。お菓子のパッケージのような「The Week Sanitary Pad」は、コンパクトで、相棒ポケモンを連れ歩くように持ち運べます。今後も、ポケモンらしさを生かして、幅広い方に寄り添う取り組みを続けていきます。





ビデオゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズ

ポケモンの原点である『ポケットモンスター 赤・緑』の、ポケモンを捕まえ・育て・集め・対戦する、4つの要素はそのままに、最新作の『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』では、シリーズ初のオープンワールドを冒険することができます。

他にも、『名探偵ピカチュウ』など、『ポケットモンスター』シリーズとは違った世界観を楽しむことができる作品も存在します。

全ポケモン関連ゲームソフトの累計出荷本数 4億8000万本以上／対応言語数
(『ポケットモンスター』シリーズ) 9言語 (2024年3月末現在)

『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』 日本ゲーム大賞「ベストセールス賞」「優秀賞」受賞 (2023年9月)



カードゲーム

ポケモンカードゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズの世界観をテーマにしたトレーディングカードゲームであり、1996年10月に販売が開始されました。ビデオゲームと同様の「収集」「対戦」「交換」を、カードで楽しめます。

「ポケモンカードゲーム スカーレット&バイオレットシリーズ」では、ビデオゲーム最新作に登場するポケモンたちも大活躍。

魅力的なイラストによるコレクション性ばかりでなく、集めたカードの組み合わせを考えて対戦する戦略性や相手との心理的な駆け引きも醍醐味です。

累計製造枚数 648億枚以上／販売言語数(実績) 15言語／販売地域数(実績)
93の国と地域 (2024年3月末現在)



映像

テレビアニメ「ポケットモンスター」

2023年春より放送が開始された、新シリーズです。不思議なペンダントを持つパルデア地方出身の少女・リコと謎のモンスターボールを持つカントー地方出身の少年・ロイの2人の主人公が、冒険を通じて大事な何かを「見つける」物語です。

「ポケモン Kids TV」／「Pokémon Kids TV」

ポケモンの歌や世界の童謡、英語や知育系動画など、お子様向けのコンテンツを中心に配信する、ポケモンの公式YouTubeチャンネルです。

その他

Netflixシリーズ「ポケモンコンシェルジュ」 〈制作：ドワーフスタジオ(株式会社FIELD MANAGEMENT EXPAND) 配信先：Netflix〉

「ポケモンたちとの甘い冬」など 〈制作：日食記(中国の映像クリエイターチーム) 配信先：YouTube〉

「ただいま(良辰有夢)」 〈制作：寒木春華(中国のアニメスタジオ) 配信先：bilibili・YouTube〉

テレビアニメ放送地域数(実績) 192の国と地域 (2024年3月末現在)

「Pokémon Kids TV」 YouTubeチャンネル登録者1000万人達成「ダイヤモンドクリエイターアワード」受賞 (2023年12月)



アプリゲーム など

『Pokémon GO』

GPSを活用し、ポケモンの冒険の舞台を現実世界に広げた、位置情報ゲーム。「Pokémon GO Fest」をはじめ、リアルイベントも数多く開催されています。

開発・提供：Niantic, Inc. ポケモン

『ポケモンマスタース EX』

歴代の『ポケットモンスター』シリーズに登場したトレーナーたちと、3対3のチームバトルを楽しむことができるアプリゲームです。バトルの他にも、様々な地方のトレーナー同士の交流を楽しむこともできます。

開発・提供：ディー・エヌ・エー ポケモン

『ポケモンスマイル』

ポケモンといっしょに楽しく歯みがきができる、完全無料アプリゲーム。上手に歯みがきができると、ゲーム内の「むしばきん」を倒して、ポケモンを捕まえることができます。毎日少しずつ遊ぶことで、子どもの歯みがきの習慣化を楽しくサポートします。

開発・販売：ポケモン

『ようこそ! ポケモンカフェ~まぜまぜパズル~』

“まぜて、つなげて、消しまくる”パズルゲーム。「ポケモンカフェ」の店長となり、ポケモンといっしょにパズルで料理やドリンクを作り、来店するポケモンたちをおもてなしします。

開発：ジニアス・ソノリティ 発売・販売：ポケモン

『Pokémon Sleep』 「Google Play ベスト オブ 2023」3部門で大賞
・ユーザー投票部門 ゲームカテゴリ (日本) 大賞
・キュート&カジュアル部門 (日本) 大賞
・Best Game for Good (米国) 大賞 (2023年11月)

『ポケモンユナイト』

5人一組のプレイヤーが、さまざまな戦略を立て、連携したりしながら、時間内に相手ゴールを目指して得点を競い合う、チーム戦略バトルゲームです。eSportsとしての認知も広がっており、Nintendo Switchとスマートフォンの両方に対応しています。
開発：Tencent 発売・販売：ポケモン

『Pokémon Sleep』

スマートフォンを枕元に置くだけで、睡眠を計測・記録・分析しポケモンの寝顔を集める、睡眠ゲームアプリです。自分の睡眠状態を記録することで、十分な時間・規則正しく寝ることの意識付けが図れ、睡眠リズムを整えるきっかけとなります。
開発：SELECT BUTTON 販売：ポケモン

『Pokémon Trading Card Game Pocket』

ポケモンカードを「集める」ことをメインテーマにしたアプリ。毎日、無料でカードパックを開封できます。デジタルならではのカードの表現や演出も取り入れられており、スキマ時間に、誰でも気軽に楽しむことができます。
開発：クリーチャーズ ディー・エヌ・エー 販売：ポケモン

『ポケモンフレнда』

ポケモンのこども向けアーケードゲーム。ビデオゲームよりもシンプルなルール設定や、ボタンを叩くなどのわかりやすい操作性、ポケモンが描かれた配出物が手に入るなど、未就学児でも、ポケモンの世界観を楽しむことができます。2007年にスタートし、第5弾となる今作からは新たにタッチパネルを導入。2024年7月より、ポケモンセンターや商業施設などで稼働開始。
プレイ料金：100円+フレндаピック払い出し1枚100円/最大1プレイ600円(すべて税込)
開発：マーベラス 運営：タカラトミーアーツ



オフィシャルショップ

出店状況：日本国内 22店舗/日本国外 2店舗（台湾・シンガポール）
商品種数：約2500種類（「ポケモンセンター」）（2024年3月末現在）

ゲームソフト・カードゲーム・オリジナルグッズに加え、ファンにうれしいサービスなども豊富な「ポケモンセンター」や、人気のグッズを中心にラインナップしたカジュアルショップ「ポケモンストア」を展開中。ポケモンの世界観の中でお買い物を楽しめることから、世界中から多くのお客様がいらしており、一部国内店舗では免税利用率が20%を超えています。



ライセンス

さまざまな分野でのコラボレーションを実現し、魅力的な商品やサービスを創出することで、1人でも多くの方に向けて、ポケモンとの新たな出会いをご提供していきます。

主なお取引先

伊藤園、サンヨー食品、資生堂、小学館、ソフトバンク、第一屋製パン、タカラトミー、ダスキン(ミスタードーナツ)、日本生命、日本マクドナルド、バンダイナムコホールディングス、ファーストリテイリング、ファミリーマート、P&G、丸美屋、森永製菓、ユニ・チャーム、読売新聞東京本社、ロッテなど（五十音順）

直近の注目事例：漆器 山田平安堂「ポケモン 干支小椀」

宮内庁ご用達の漆器専門店「漆器 山田平安堂」より、「ポケモン 干支小椀」が発売されました。漆器の装飾には古くから生き物がモチーフとして描かれてきましたが、今回の干支小椀には、蒔絵という伝統技法を用いながら、すべて職人の手作りで『ポケットモンスター』の世界の生き物、アーボ・カイリュー・ピカチュウが描かれています。今後も、新たなポケモンが登場予定です。(販売期間：2025年1月17日～)



その他の取り組み

ピカチュージェット運行中の航空会社
ANA / ガルーダインドネシア / スカイマーク / スカウト / チャイナエアライン /
ティーウェイ（五十音順）

「ポケモンローカルActs」連携協定締結先の道県
北海道 / 岩手県 / 宮城県 / 福島県 / 福井県 / 三重県 / 鳥取県 / 香川県 / 高知県 / 長
崎県 / 宮崎県 / 沖縄県

そらとぶピカチュウプロジェクト

「そらとぶピカチュウプロジェクト」は、人と人、人と地域をつなぐことで、旅の楽しみをお届けします。その象徴として、「ピカチュージェット」が就航、2025年2月末現在は6つの航空会社で8機が運航しています。

ポケモンローカルActs

日本全国の地方自治体と連携し、地域ごとに「推しポケモン」を選定。各地の魅力と一匹一匹のポケモンの魅力を国内外に同時発信することで、ポケモンファンに各地へ足を運んでいただくことを目指す取り組みです。特産品・伝統工芸品や交通機関とのコラボレーション、ポケモン公園やポケふたの設置などを推進しています。（2025年2月末現在12道県と協定を締結）

一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユー財団

2011年、弊社の有志社員を中心に、被災地のこどもたちを支援する活動「POKÉMON with YOU」が発足。2021年、ポケモンらしい社会貢献を持続的に拡大するために、ポケモン・ウィズ・ユー財団を設立しました。活動領域も広がり、こどもの災害対策支援・こども食堂の支援・ICT教育支援・ポケモンスカラシップの運営などを推進しています。

ポケモンワールドチャンピオンシップス

2004年にカードゲームの世界大会として始まった「ポケモンワールドチャンピオンシップス」。現在は、ビデオゲーム・『ポケモンユナイト』・『Pokémon GO』部門も追加され、毎年、世界各地の予選を勝ち抜いたプレイヤーが会場。言語の壁を越えた対戦や、コミュニケーションの場となっています。まさにポケモンが世界をつないでいるかのような本大会は、長らく欧米で開催されてきましたが、18回目となる2023年に初めて日本で開催されました。2024年にはハワイで開催され、50以上の国と地域からプレイヤーが会場。ホノルルの会場には、選手と観客合わせて13000人以上が来場しました。

2024年にハワイで開催された、「ポケモンワールドチャンピオンシップス」の様子



POKÉMON



ポケットモンスター、略してポケモンは、たくさんの謎を秘めたふしぎな生き物。これまでに1000種以上が発見されており、その生態は非常に個性豊かです。

始まりは、1996年に株式会社ゲームフリークが開発、任天堂株式会社より発売された1対のゲームソフト『ポケットモンスター 赤・緑』で、後に株式会社クリーチャーズが企画・開発したポケモンカードゲームへと続きました。

捕まえて育てる「コレクション性」や、友達同士で交換や対戦をする「コミュニケーション性」などの遊びの要素が詰まったポケモンは、テレビアニメ・映画・アプリ・グッズなど幅広く展開され、グローバルな人気を得ています。